

表の見方は次のとおりです。

No	行動計画 記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度	評 価 (26年度改善点等)	担当課	H27年 度より次 世代育成 支援行動
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	★

- ① 本報告書の通し番号  
複数の章に該当する事業については、「No～に記載」となっていますので、この「No」で検索してください。
- ② 座間市次世代育成支援（子育て支援）行動計画の記載ページ
- ③ 支援事業名
- ④ 支援事業の内容
- ⑤ 支援事業の内容をどれくらい取り組むことができたのかを5段階で表示
- | 達成度 | 説 明（達成率%）                   |
|-----|-----------------------------|
| 5   | 計画どおり実施（目標達成率100%）          |
| 4   | おおむね計画どおり実施（目標達成率80～100%未満） |
| 3   | 計画を下回って実施（目標達成率50～80%未満）    |
| 2   | 計画を大きく下回って実施（目標達成率1～50%未満）  |
| 1   | 計画に満たない事業が未着手（目標達成率0%）      |
- ⑦ 平成25年度の取り組みの効果や課題について評価、平成26年度に反映された改善点や取り組み予定の内容
- ⑧ 担当課名
- ⑨ 次世代育成支援行動計画事業以外に、計画がある事業の計画名を記載
- ★ 次世代育成支援行動計画事業に平成27年度より継承するー●
- ※ 次世代育成支援行動計画事業に平成27年度より継承しない

No	行動計画 記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評 価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
1	24	子 育 て 支 援 セ ン ター事業	未就園児等の子育てをしている保護者等を対象に、子育て家庭が抱える育児不安等についての相談指導等の育児・子育て支援を行います。	4	4	4	第1、第2ともに利用者数が増えている。利用者の中でも乳児が増加しているため、赤ちゃんルームの活用をしていく。第3支援センターの開設準備も進めていく。	子育て支援課		地域子ども・子育て支援事業へ
2	24	ファミリ－・サポート事業	地域において育児の援助を受けたい人（依頼）と行いたい人（提供）が会員となり、会員同士で相互援助活動を行います。	5	5	5	保育園、学童保育の送迎や保育終了後の預かりなどの利用が多く、ニーズが高い。今年度に置いても会員数増加に向け、ポスターチラシ等を活用し、周知・啓発活動を推進する。26年度から、母子・父子家庭等（児童扶養手当受給者等）の利用料を半額とします。	子育て支援課		地域子ども・子育て支援事業へ
3	24	保育園等における「一時保育」の実施	家庭において保育されることが一時的に困難となった乳幼児を保育する「一時保育」の充実を目指します。	5	5	5	保護者からのニーズは高く、さらに充実が必要。（平成26年度から新規に1園で実施）	保育課		地域子ども・子育て支援事業へ
4	24	保育園等における「特定保育」の実施	保護者のパート労働などの理由により、相当程度の日・時、家庭において保育されることに支障が生じる乳幼児を保育する「特定保育」の実施を目指します。	3	3	3	利用希望者の動向を考慮しながら検討していく必要がある。	保育課		子ども・子育て支援事業へ
5	25	「短期入所生活援助（ショートステイ）事業」の実施	保護者が病気などの理由で、家庭における児童の養育が困難になった場合、児童養護施設等で一時的に養育します。	1	1	2	需要が無く中止している。ファミリーサポート事業の利用を促している。需要が増えた場合再度検討する。	子育て支援課		ニーズ無し・児童相談所対応
6	25	「病後児保育」の実施	保育園に通園中の児童等が病気の「回復期」であり、集団保育の困難な期間、その児童を保育園・診療所等で保育する「病後児保育」の実施を目指します。	5	5	5	保育ニーズに対応した事業として有効。	保育課		地域子ども・子育て支援事業へ
7	25	「児童ホーム」の実施	家庭において保育されることが困難な児童を保育する「児童ホーム」の充実を目指します。なお、保育時間の拡大についても検討いたします。	4	4	4	待機児童解消に向け更なる取り組みが必要である。	子育て支援課		地域子ども・子育て支援事業へ
8	25	地域育児センター事業	保育園の専門的機能を活用して、地域の子育て家庭の養育ニーズに対応するため、育児相談のほか、子育て家庭交流事業、中高生と園児の体験交流等を行います。	5	5	5	保育園の専門的機能活用による、地域の子育て家庭の養育ニーズに対応した事業として有効。	保育課		実績評価充分達成しているため
9	25	幼稚園「預かり保育」事業の推進	県と連携し、幼稚園における、保護者の保育ニーズに弾力的に対応するための「預かり保育」（教育時間の前後の一定時間の保育）の充実を図ります。	5	5	5	保育ニーズに対応した事業として有効。	子育て支援課		地域子ども・子育て支援事業へ
10	25	新生児訪問指導	身体的・精神的に不安定な状態にある産婦及び新生児に対し、保健師及び助産師が家庭訪問し、新生児の発育及び育児上必要な事項や日常生活全般の保健指導を行います。	4	4	4	訪問マニュアルに基づき更なる支援体制の充実を図る必要がある。	健康づくり課	●	
11-1	25	乳幼児訪問指導	育児支援が必要な親子に対し、保健師が家庭訪問を行い、日常生活全般の保健指導及び栄養指導等を行います。	4	4	4	適切な時期に訪問を実施し、育児支援を図る必要がある。	健康づくり課	●	
11-2	25	乳児家庭全戸訪問	生後4か月までの乳児のいる家庭を訪問し、母子の心身状況や養育環境等の把握を行い、育児等の相談に応じるほか、子育て支援に関する情報提供等を行い、継続支援が必要な家庭を適切にフォローする。	4	4	4	訪問後のフォローが必要な場合、適切な時期にフォローできるように体制を整えていく。	健康づくり課		地域子ども・子育て支援事業へ

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
12	26	外国籍母子支援事業	安心して出産や子育てができるよう、育児支援を行います。	4	5	5	妊娠届出書からの外国籍母子のフォローを確実にする。	健康づくり課		実績評価充分達成しているため
13	26	乳幼児健康診査	子どもの発育・発達の確認をすることで、安心感が得られるようにします。また知識の普及を図り、育児不安等が解消できるように支援します。(4か月児健康診査、8～10か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳6か月児健康診査)	4	4	4	個別健診の場合、早期にフォローできるように体制を整えていく。健診通知に育児や保健衛生のパンフレットを同封している。未受診者への対応方法を整理して行く必要がある。スクリーニングの徹底を行っていく必要がある。	健康づくり課		N o60と同事業
14	26	妊婦相談	身体的・精神的に不安定な妊婦に対し、保健師が電話等で日常生活全般の保健指導を行います。また、新生児訪問・乳幼児訪問等で継続的な指導を行っていきます。	4	5	5	妊娠届出書からフォローが必要なケースは地区担当の保健師が継続して支援を行っている。	健康づくり課	●	
15	26	育児相談	市民健康センターを中心に市内5ヶ所で、身体計測と乳幼児期に育児上起こる心配・疑問・問題点に対し相談を受け、母親が自信と主体性を持って育児できるよう支援します。	4	4	4	平成25年度から市民健康センターで予防接種相談を開催した。また、平成26年度から市民健康センター障がい福祉課事業の発達相談を同時開催する。	健康づくり課	●	
16	26	児童相談	親の抱える育児上の疑問・不安・心配事に対し、専門相談員を配置し、適切に相談に応じ、関係機関と対応していきます。	3	4	4	相談件数は大幅に増えている。平成26年度より専門相談員を2名プラス保健師、臨床心理士を増員し、相談の充実をはかる。	子育て支援課	●	
17	26	電話相談	親の抱える育児上の疑問・不安・心配事に対し、随時相談を受け、育児支援を行います。また、保育園や子育て支援センターにおいても相談を受けます。	5	5	5	親の抱える育児上の疑問・不安・心配事の解消に有効。	健康づくり課 子育て支援課 保育課		実績評価充分達成しているため
18	26	「子育て応援パスポート事業」の実施	子育て家庭にパスポートを発行し、協賛店舗が様々なサービスを提供することを通じて、社会全体で子育てを応援する取組み「子育て応援パスポート事業」実施を目指します。	1	1	2	実施するには、商工会の協力が不可欠となってくる。商工会と話し合いを継続して行く。	子育て支援課		県でも同様の制度がある
19	28	通常保育事業	私立保育園の定員を超えての保育の実施と市立保育園への保育士加配により、受け入れ可能児童数を増加させ、待機児童の減少、解消を目指します。	3	3	3	目標値に対して大きく開きがあり、更なる待機児童解消に向けた取組みをする必要がある。	保育課		子ども・子育て支援事業へ
20	28	延長保育事業	19時を越える延長保育について、充実を目指します。	3	3	3	利用希望者の動向を考慮しながら検討していく必要がある。(利用時間延長などのニーズがあれば柔軟に対応していく。)	保育課		地域子ども・子育て支援事業へ
21	28	休日保育事業	日曜日や祝日も勤務する保護者のための「休日保育」の充実を目指します。	3	3	3	利用希望者の動向を考慮しながら検討していく必要がある。	保育課	●	
22	28	認定保育施設等補助事業	認可保育園以外の保育施設のうち、一定の基準を満たした施設に対し、その運営費等を補助し、保育ニーズへの対応を図ります。	5	5	5	認可保育園以外の保育施設の充実に有効。	保育課		実績評価充分達成しているため
23	29	子育て支援ネットワークの充実	子育てにかかわる活動を展開している団体がネットワークを形成し、学習と情報交換、行政・団体相互の活動を支援しつつ、併せて行政各機関との連携を図り、情報を提供します。	5	5	5	団体、サークルの交流と共に行政との連携をすることが出来た。(子育て支援団体、サークルそれぞれの活動趣旨を尊重してネットワークを通して連携と充実を図っていく。)市内各地域での「サロン」の立ち上げを支援して行く。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
24	30	子育て情報誌の充実	現在発行している子育て情報誌をさらに多岐にわたりに広めて、内容の充実を図り、関連する行政機関の窓口などで親等の養育者または妊娠中の方などに配布し、情報提供します。	5	5	5	計画に添って刊行することができた。「ざまっぷ」を初めて手にする方もあり大変好評であった。(市内公共施設に設置し、より多くの方の手に渡るような配布方法を実施。)	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
25	30	育児グループ支援事業「なかよしベビークラス」	乳児の親子が集い、子育てに関して情報を交換したり悩みを話し合ったりすることにより、行政ではフォローできない分野の問題を親自らが克服し、孤独感を和らげます。	5	5			健康づくり課		H24年度既終了事業
26	30	子育て支援グループ活動支援事業	育児サロンや子育て講座など「子育て支援」にかかわる活動を行っているグループが、今後も地域で活動を継続することができるように支援します。	2	2	4	地域で子育てサロンの活動を継続できるよう支援を続けていく。	子育て支援課		生涯学習プランに類似の業務有
27	31	児童館の運営	放課後や休日の子どもの活動場所、健全育成の場所として、子どもの居場所づくりに努めます。	5	5	5	放課後や休日に多くの児童が利用する場所を提供することができた。	子育て支援課		実績評価充分達成しているため
28	31	青少年センター活動事業	青少年センターを活動拠点として、小中学生を対象にした短期教室・講座の開催、青少年フェスティバルの開催等、青少年の健全育成の充実に努めます。	4	4	4	講座については定着したものも多く、毎回定員を超えての応募がある。フェスティバルについては参加団体の高齢化などがあり、新規の団体が参加し易いように取り組む必要がある。	青少年課	●	

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
29	31	コミュニティセンター管理運営事業	市民の地域活動を通じた交流の場となっているコミュニティセンターの運営内容の充実と有効な施設利用を図っていきます。	4	4	4	子どもの居場所づくりのため、毎週水・金曜日の集會室を個人利用者のために開放する施策を続けています。その効果・検証を行いながら、引き続き、子どもの居場所づくりに繋がる手法について検討していきます。	市民協働課		概ね計画通り実施しており、幅広い世代の利用施設と捉えているため
30	32	「ざま遊友クラブ」の市内全小学校での実施	さまざまな遊びをとおして、異年齢間の交流や地域の方々と接する機会を持つ等、体験の場を作り、子どもの自主性を養う機会とします。	4	4	4	学校及び地域の協力のもと、実施できた。行政は支援に徹し、実質的な活動は実行委員会が主体となり活動できた。スタッフ1人に対する児童数が増えているため、今後は保護者や地域の参加者を充実させ、スタッフが負担超過しないような活動内容を考えていく。また、市内団体に依頼し、研修会を始め、事業においても指導をお願いするなど様々な施策を取り入れる。	青少年課		放課後子ども教室への移行
31	32	協力団体の支援	青少年が地域と共に活動するために、地域の協力団体の活動を支援します。	4	4	4	地域ごとに抱える問題が異なるため、相互の連絡を密にし、的確な支援を行う必要がある。	青少年課	●	
32	32	ジュニア・リーダーの発掘・養成	子ども会等の行事や活動をサポートする中高生（ジュニア・リーダー）の発掘・養成に努めます。	4	4	4	日程の都合等により、地域からの派遣要請にこたえられないケースがある。より多くの人員を育成し、要請に対応できる体制作りを目指す必要がある。	青少年課	●	
33-1	32	図書室の集い	図書に親しむための各種集いを開催します。	4	5	5	公民館・地区文化センターとしての特性を生かし、幼児、小学生低学年を対象に、図書に親しみを持たせるための各種集いを開いてきました。東地区文化センターでも開催できるよう努めます。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
33-2	32	おはなし会	絵本のよみきかせや、手あそび、エプロンシアター、わらべうたを歌う。	5	5	5	定期的な「おはなし会」の他にクリスマスやセタにもおはなしのプログラムを入れている。今後も充実に努めます。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
34	32	赤ちゃんとのふれあい体験	思春期の学生に赤ちゃんといふれあう機会を提供し、小さな子への慈しみの気持ちや命の大切さを伝えます。	3	3			健康づくり課		H24年度既終了事業
35	32	青少年相談	青少年が直面するあらゆる問題に対し、青少年相談員、青少年心理相談員が対応します。	4	4	4	青少年が直面するあらゆる問題についての相談を受け、発達過程に対応した必要な指導・助言を心がけ、関係機関と連携し、問題の早期発見解決に取り組む必要がある。	青少年課	●	
36	32	教育相談	悩みを抱えた児童生徒に対し、相談に応じます。	5	5	5	小中学校の教育相談機能の充実や学校と相談機関の連携の高まりによって、相談件数・相談回数ともに増加し、悩みを抱えた多くの児童生徒や保護者等と相談を行うことができた。県のSSWと市のSSWの連携によって、そのケースに合った機関につなげることができた。(SSW:スクールソーシャルワーカー)	教育指導課		実績評価充分達成しているため
37	36	妊娠届	健康づくり課及び各出張所に妊娠届を受理。出産予定日、医療機関の確認と現在抱えている不安、疑問について対応します。また、リスクの高い妊婦に対しては、継続的にフォローを行います。	5	5	4	ホームページ、保健衛生のお知らせに「相談や心配、初めての妊娠、外国籍の方には、健康づくり課での交付をすすめる」と言う内容を加える。	健康づくり課		実績評価充分達成しているため
38	36	母子健康手帳の交付	妊娠届出者に対して交付。母が外国籍の場合、外国語版を交付することもあります。併せて、子育てハンドブック等の副読本と母親父親教室・新生児訪問のパンフレット等と一緒に配布します。	4	4	5	妊娠届出書に対し、適切な言語の母子健康手帳を交付し、必要な情報提供を行っている。	健康づくり課		実績評価充分達成しているため
39	36	妊婦健康診査	神奈川県産科婦人科医会に委託。妊婦の健康管理として、健診費用を助成します。	4	4	4	妊婦健康診査の必要性を周知する必要があるため、市広報、ホームページ、保健衛生のお知らせに本事業について掲載する。	健康づくり課		地域子ども・子育て支援事業へ
40	36	父子健康手帳の交付	初めて父となる人に対して交付します。	5	5	5	ホームページ、保健衛生のお知らせにも記載し、周知している。	健康づくり課		実績評価充分達成しているため
41	36	妊婦電話相談	妊娠届、妊婦健康診査の結果等から、妊娠・出産の時期が順調に過ごせるよう電話相談にて支援します。	5	5	4	出張所で心配事が記載され、後日電話をしても、連絡が取れないケースがある。ホームページ、保健衛生のお知らせに「相談や心配、初めての妊娠、外国籍の方には、健康づくり課での交付をすすめる」という内容を加える。	健康づくり課		実績評価充分達成しているため

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評 価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
42	37	母親父親教室	妊娠18～32週の初妊婦とその夫を対象に4日間コースの教室を開催します。妊娠中の生活、栄養、産後の過ごし方、妊婦体操・呼吸法、沐浴、赤ちゃんとのふれあい体験等を実施します。教室を通して、友達作りと親としての自覚・自信をつけてもらうことを目的とします。	4	4	4	参加者数が減少しているため、事業のPR方法の検討や、内容の変更について検討する必要がある。	健康づくり課	●	
43	37	出生連絡票受理	出生状況、里帰りの有無等連絡票にて把握し、新生児訪問や産後うつ病等について説明・紹介します。この連絡票を元に新生児訪問の連絡や相談ありと記載のある時に、電話等にて相談を受けます。	4	4	4	育児等の疑問や不安の記載がある場合、適切な助言ができるようにしていく必要がある。	健康づくり課	●	
44	37	新生児訪問指導	No10に記載					健康づくり課		再掲
45-1	37	乳幼児訪問指導	No11-1に記載					健康づくり課		再掲
45-2	37	乳児家庭全戸訪問	No11-2に記載					健康づくり課		再掲
46	37	育児グループ支援事業「なかよしベビークラス」	No25に記載					健康づくり課		再掲
47	37	離乳食育児教室「赤ちゃん教室」生後5～6か月児「もくもく教室」生後7～8か月児	概ね生後5～8か月の赤ちゃんを持つ親を対象に、子どもの発達に応じた離乳食のすすめ方や、育て方について、知識と理解を深められるようにします。	4	4	4	健やかに赤ちゃんを育てるために、離乳食を中心に、児の発育や発達、育児、予防接種について栄養士・保健師・看護師により基礎的知識を得る機会が必要である。参加者が求める内容が提供できているかをアンケートで確認する。	健康づくり課	●	
48	37	1歳児むし歯予防教室「歯っぴーパースティ教室」	1歳児とその親を対象に、歯磨きの方法やむし歯予防のための食事やおやつについて、知識と理解を深められるようにします。	4	4			健康づくり課		H23年度既終了事業
49	37	乳幼児健康診査	No13に記載					健康づくり課		再掲
50	38	2歳児歯科健康診査	むし歯予防の生活習慣が確立する2歳児を対象に健診・教育、予防処置を行い、歯を通して生活を見直す機会とします。	4	4	4	この時期に歯科健診を受け、食生活等を見直し、う蝕の重症化を防ぐ必要がある。	健康づくり課	●	
51	38	育児相談	No15に記載					健康づくり課		再掲
52	38	親子相談発達相談ことばの相談	行動発達、言語発達や子どもへのかかわり方について心配のある親子に対し相談を受け、適切な助言を行い親の不安を軽減するとともに子どもの発達を促す支援をします。	4	4	4	親の不安を軽減して幼児の発達を促せるよう、実情に合わせた支援体制を充実していく努力が必要とされています。	健康づくり課	●	[発達相談ことばの相談]事業は、別計画有
53	38	電話相談	No17に記載					健康づくり課 子育て支援課 保育課		再掲
54	38	乳幼児フォロー教室「わくわく教室」(1歳6か月児)「すくすく教室」(3歳6か月児)	親子遊びなどの体験を通して幼児の精神発達に大きな影響を及ぼす親子関係を豊かにし、健全な発達を促す支援をします。	4	4	4	参加している親子にあった適切な支援を考えていく必要がある。	健康づくり課	●	
55	38	予防接種	感染の恐れがある疾病の発生および蔓延防止を目的に予防接種を行い、公衆衛生の向上に努めます。	4	4	4	法施行令の改正が頻繁に行われたり実施方法に変更が生じるため、周知の方法を必要に応じて検討実施しているが、さらに混乱が起らないようにする必要がある。	健康づくり課		現行法に基づき実施
56	38	小児医療費助成制度	小児の健康の増進に資する事を目的に、小児にかかる医療費の一部を助成し、その健全な育成支援を図ります。	4	4	4	小児の健康の増進、健全な育成に有効。平成26年10月1日から、対象年齢を小学校6年生までに拡大。	医療課	●	
57	41	冊子配布	母子健康手帳交付時に副読本として、『教えて！楽しい食卓』を配布します。	5			H23年度で終了	健康づくり課		H23年度既終了事業
58	41	母親父親教室	No42に記載					健康づくり課		再掲
59	41	産婦新生児訪問	保健師・助産師が家庭訪問し、子どもの発育状態を観察した上でその母子に合った授乳方法等について支援します。	4	4	4	新生児の発育及び育児上必要な指導を実施する。また、アンケートから母の気持ちを引き続き支援し、育児不安の解消に努める必要がある。	健康づくり課	●	
60	41	各種乳幼児健康診査	4か月児健康診査…受診者に対し、集団で離乳食開始に向けての話をします。2歳児歯科健康診査…受診者に対し、集団で飲み物やおやつの取り方が歯に与える影響などを伝え、良い生活習慣が身につくよう支援します。4か月児、1歳6か月児歯科健診、3歳6か月児健康診査…個別栄養相談の機会を設け、子どもの発育、生活習慣、食の自立等個々の家庭に合わせた支援を行います。8～10か月児健診…個別健診のため、健診票に栄養に関する相談事項が記載されている場合、電話にてフォローを行います。	4	4	4	母親のニーズに答え、各月齢にあわせた発育及び育児上必要な栄養指導を実施できるよう随時検討していく必要がある。	健康づくり課	●	

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
61	41	離乳食教室	No37に記載					健康づくり課		再掲
62	41	1歳児むし歯予防教室	No48に記載					健康づくり課		再掲
63	41	育児相談	No15に記載					健康づくり課		再掲
64	41	保育園（食育）	保育園在園児及び保護者への食育を推進します。 ・計画の策定を行い食育に取り組む体制作りをする。 ・飼育・栽培・調理体験や地域の伝統的な食事の体験を行う。 ・保護者向けに相談や講演会の開催、地域の人との会食を行う。	5	5	5	・19日「食育の日」を中心に子ども達に更に食に関することを伝えていくことを続けていく。 ・身近な食材について深く関わられるようにいろいろな角度から話をしていく。	保育課		実績評価充分達成しているため
65	42	小学校（食育）	食を通して豊かな心を育成し、自分の健康を考えられる子をめざしています。 ・教科において食に関する指導を行う。 ・給食時間に食に関する指導を行う。 ・献立の工夫（年間テーマを決めて作成）献立表に説明文を載せ、興味関心を深める。 ・献立に使われている食材の説明を配布し、旬の食材や食品の知識を深める。 ・地場産産品を活用し、興味関心をもちさせる。	5	5	5	・栄養教諭を中核としたネットワークを構築した食育推進が定着し取組も進んできています。今後はさらに市内11校で食育推進のための計画立案、実施をおこなっていきます。今年度は座間の野菜を給食に取り入れるための取組をおこないます。 ・ランチルーム等の時間には各学年に応じた栄養指導を行い、給食の時間には「栄養メモ」を配付し校内放送で栄養などについて説明をしました。 ・献立の年間テーマは「座間の野菜を食べよう」としました。毎月、座間の野菜献立に取り入れるとともに生産者の顔や名前を紹介するなど、作った人の顔が見える取組をしていきます。地場産物を使った献立の実施は児童に郷土の産物への関心をもたせ、地域でどんなものが生産されているかなど、また、働いている人たちの苦労を知り、生産者や食べ物に対して感謝する心を養います。 ・「給食予定献立表」の中で、献立ごとに食材を赤・黄・緑に分類し、エネルギー、蛋白質、脂肪、塩分の栄養量を掲載します。 ・給食には、地元の農家の方の協力により可能な限り地場産の食材を使用し、季節感を感じてもらうため、毎月、行事食を取り入れます。 ・地元の方の協力のもと、座間小学校と入谷小学校で餅米作りを、体験します。	学校教育課 教育指導課		実績評価充分達成しているため
66	42	中学校（食育）	生活に必要な基礎的・基本的知識と技能の定着を図ります。 ・食事の果たす役割と健康を知る。 ・栄養素の種類と働きを知り、特徴を知り、一日の献立を作る。 ・食品の選択、調理計画を立て、調理を行う。 ・自分の食生活を振り返り季節毎の食を知る。	5	5	5	・栄養教諭を中核としたネットワークを構築した食育推進が定着し取組も進んできています。今後はさらに、家庭科や保健体育といった教科との連携の中で栄養教諭がPTの役割を果たしたり、PTA活動の中で家庭や地域との連携を深めたりする食育が期待できる。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
67	42	食生活改善推進事業	自らの健康を守る市民運動として、核となる人材を育成し、地域ぐるみの健康づくりを推進します。	4	4	4	より地域に根差した活動を行うため、会員の意見を活動に反映させていく必要がある。また、新入会員の退会が多いため、継続研修の場を活用して、新入会員の活動を後押しする。	健康づくり課		広い範囲の市民対象事業
68	42	公民館学級・講座開設事業	公民館開設事業（学級、講座）のなかで、小・中学生を対象に、地域の食文化を考えたり、稲作体験や野菜作りを通して世代間交流を深めたりするなど、地域における食育を推進します。	5	5	4	講座では、単に講義を聞くというだけでなく、自ら体験することを取り入れた講座として、事業のねらいを展開することができた。 しかし、小中学生が公民館の講座に親しんでいるとは言い難い。まずは「食」と関わらず、小中学生が公民館に足をこびたくなるようなことから始めたい。	生涯学習課		他事業計画有（生涯学習プラン）
69	44	赤ちゃんとのふれあい体験事業	No34に記載					健康づくり課		再掲
70	44	教育相談	No36に記載					教育指導課		再掲
71	44	定期健康診断	学校において児童生徒の健康保持増進を目的として、身体状況の検査を毎年定期的に実施します。	5	5	5	児童・生徒の健康の保持増進を図りました。	学校教育課		実績評価充分達成しているため

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
72	44	学校保健安全教育研修会	学校保健安全に対する知識を深め、指導力の向上を図ります。	5	5	5	・食育を学校で効果的に進めるための理論や授業を中心とした食育の事例を学ぶことができた。学校での食育活動に活かすことができた。今年度は性感染症予防について自分自身を守るという視点で研修を実施する。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
73	44	未成年者の喫煙防止対策推進事業	未成年者の喫煙防止、受動喫煙の害の減少、防止にむけた環境作りを進めます。	4	4	4	市内中学校では、警察等の外部機関も活用し、喫煙だけでなく薬物全体に関して未然防止の取組を行った。市内小学校では、保健等の授業を通して、啓発活動を行った。今年度も継続して実施する。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
74	45	小児救急医療体制	休日急患センターを平日夜間及び休日における一次救急医療の拠点としています。また、神奈川県の保健医療計画に基づき、県との連携による広域的な病院群の輪番制で深夜及び重症患者の診療にあたる二次救急医療、より高度で特殊・専門治療が必要な重篤患者を北里大学病院が受け入れる三次救急医療の各体制を整え、急病者に的確に対応しています。広域的な連携のもと、小児が急病になった時にいつでも安心して受診できる小児救急医療体制の充実を図っています。	5	5	5	平成22年度から、病院群輪番制については、運営区域内での輪番維持が困難となり、市域外の隣接医療機関に協力いただいている。運営区域内における安定した体制維持に、共同運営市である海老名市、綾瀬市とともに取り組んでいたが、平成25年度より、大和市を含めた4市による広域化を開始し、体制の充実を図っている。	医療課		実績評価充分達成しているため
75	47	赤ちゃんとのふれあい体験事業	No34に記載					健康づくり課		再掲
76	47	地域育児センター事業	No8に記載					保育課		再掲
77	49	小中学校における「豊かな心の教育」の推進	豊かな心をはぐくむ教育は、教育活動全体を通じて、知・徳・体の調和の取れた人間育成をしていくことである。学校教育においては、特に子どもたちの自己実現をめざした取組みを重点として推進します。	5	5	5	地域や家庭に対する周知に課題がある。家庭には引き続き学校での説明を取り組んでもらい、PTA研修会では教育指導課でも説明を実施する。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
78	49	こころ・ときめきスクール推進委託事業	「豊かな心の育成」に積極的に取り組むとともに、児童生徒一人ひとりの「生きる力」の育成を目指して地域（学校外）教育力を生かした教育活動等を展開し、創意に富んだ特色ある学校づくりを推進します。	5	5	5	学校間で地域の指導者について、情報共有を図るように取り組んだので、26年度以降は、新たな取り組みが期待できる。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
79	49	教育相談	No36に記載					教育指導課		再掲
80	49	適応指導教室事業	不登校児童生徒を対象にカウンセリング、集団での活動、教育指導等を組織的・計画的に行い、児童生徒の精神的自立を援助します。	5	5	5	個に応じたきめ細やかな指導と、集団生活を通しての学びの積み上げにより、効果的な自立支援ができた。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
81	49	特別支援教育事業（障害のある児童生徒への支援の推進）	No83に記載					教育指導課		再掲
82	49	外国人英語指導助手派遣事業	小学校11校に3人、中学校6校に3人の外国人英語指導助手を派遣し、各学校における英語教育及び国際理解教育を推進します。	5	5	5	NETとの言語活動を通して、英語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験し、国際感覚を身に付けることができた。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
83	49	特別支援教育事業（障害児介助員設置事業、障がいのある児童生徒への支援の推進）	【介助員】市内の小中学校の障害児学級に在籍している児童生徒のうち、重度の障がいがあり、学校生活における介助が必要な児童への生活面での支援を行います。 【特別支援教育補助員】市内小中学校通常級に在籍する発達障がい等の特別な配慮を要する児童・生徒に対し、一人ひとりの教育的ニーズに合ったきめ細かな支援を行います。	5	5	5	・特別支援学級に在籍している児童生徒への介助や、発達障がい等の特別な配慮を要する児童・生徒に対する学習・生活支援を行うことができた。介助員・補助員ともに今後さらに適切な支援ができるよう取り組みをめざす。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
84	50	外国人子女日本語指導協力者派遣事業	市内小中学校に在籍している児童・生徒で、外国籍の児童・生徒のうち、日本語の指導が必要な児童・生徒に日本語の指導を行います。	5	5	5	外国籍の児童・生徒、さらにその保護者に対して、適切な対応を行う助けとなっていました。今後の対象児童・生徒数の状況によっては、さらなる充当の検討も考えられます。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
85	50	部活動指導協力者派遣事業	中学校の部活動の指導者として、学校の部活動の指導の充実をはかります。	5	5	5	・部活動指導者の派遣により、安全面、技術面ともに充実した部活動の運営がなされてきている。今後も継続していきたい。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
86	50	学校保健安全教育研修会	No72に記載					教育指導課		再掲
87	50	未成年者の喫煙防止・分煙対策推進事業	No73に記載					教育指導課		再掲

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
88	50	幼稚園就園奨励費補助	認可幼稚園に子どもを通園させている保護者の経済的負担を軽減するとともに、幼児教育の振興に役立てるため、就園奨励費補助金を支給します。	5	5	5	国庫補助金対象児が増加している一方で、本来、受給できる国の補助金枠の1/3が遂行されないことにより、市の財政負担が圧迫されている。今後も継続的に抜本的な補助制度の見直しを求めて国への要望等を実施する。	教育総務課		実績評価充分達成しているため
89	52	公民館学級・講座等開設事業	公民館開設事業（学級、講座等）のなかで、「公民館コンサート」、「自然と触れ合う体験学習」、さらに「おはなし会」を開催するなど、親や地域の人々とともに学ぶ機会を設け、家庭や地域の教育力の向上に努めます。	5	5	5	・継続的事业として計画を持たせ取り組むことができた。 ・家庭教育研究集会については、参加者からは有意義な研修会であったという意見が多く、事業の目標は達成できた。小学生から中学生の親が一堂に会するため、テーマの設定については検討していく必要がある。（講演会などには関心の少ない層の参加も得られるよう、個別のカウンセリングを同時に行うなど、間口を広げた開催をしていく。） ・育児講座開設事業については、委託先の団体が自発的に講座を開き、学習機会を提供する姿勢になっている。今後新たな団体の開拓と今年度の委託先の団体の講座内容の向上に努める。	生涯学習課		他事業計画有（生涯学習プラン）
90	52	「ざま遊友クラブ」の実施	No30に記載					青少年課		再掲
91	52	子育てサロン	子育て中の母親たちが気楽におしゃべりができる「場」を提供して、気楽に参加できる集まりの場とし、友達づくりを推進します。	5	5	5	子育て中の母親を中心とした利用者によって、定着した事業となっている。今後はさらなる「場」の充実と内容の整備を図る。	生涯学習課		他事業計画有（生涯学習プラン）
92	52	読書普及活動	市内全域に図書館サービスを図るため、図書館、公民館図書室において、直接利用が困難な地域に移動図書館を設置しています。小学校5校、児童遊園地、児童館に設置して、読書普及活動を実施しています。また、小学校1校に、常設の出張図書館を設置して、読書普及活動を展開しています。	5	5	5	移動図書館の利用においては、小学校において顕著であり、利用の効果が認められています。公民館、各文化センター図書室の利用については、全体的に向上きの状態です。また、その他読書普及のための講演会、講座等をさらに充実させるよう努めます。	図書館 生涯学習課		実績評価充分達成しているため
93	52	座間市子ども読書推進計画	平成13（2001）年12月公布・施行された「子ども読書活動の推進に関する法律」、平成16（2004）年1月に制定・施行された「神奈川県読書のススメ～神奈川県子ども読書推進計画～」に基づき、座間市における読書推進計画を作成するため、「座間市生涯学習推進調整会議」に議題として提案され、平成17（2005）年度に制定された。	5	5	5	26年度も「第二次子ども読書活動推進計画」を基本に、調べる学習の講座、及びコンクール、その他の事業を実施し、これを座間市全域に広めていきます。	図書館		実績評価充分達成しているため
94	52	親子スポーツ対策事業	親子のふれあい、健康増進を目標に「ふれあいピクニック」「ソフトバレーボール大会」「ファミリーバドミントン・ソフトバレーボール教室」などを開催しています。また、23年度より、「カローリング教室」と元プロ野球選手の指導による「親子キャッチボール教室」、25年度から「親子サッカー教室」を開催しています。	3	4	5	参加者増大に向け、広報活動と共に、内容の充実を図っていく。	スポーツ課		実績評価充分達成しているため
95	52	座間市スポーツ少年団本部	スポーツを通して、青少年の健全な身体と精神の育成を図り、団体の中での自主性、協調性を高めるための事業展開をしています。	4	4	4	事業はおおむね計画通り実施できている。しかし、団員数が減少傾向にあるので団員数の確保に力を入れていきたい。	スポーツ課		実績評価充分達成しているため
96	53	市民プール開放事業	各小学校区単位に設置してきた市民プールは、一般市民に開放すると同時に、各プールで学校専用期間を設け、児童の泳力向上に積極的に努めています。また、2施設に幼児用プールを併設しています。	5	5	5	利用者人数は、天候に左右されるが、市民の水泳振興が図られている。	スポーツ課		実績評価充分達成しているため
97	53	子育てフェスティバル	子育て支援、子育て中の親の連携、情報交換、学習の場の提供をします。	5	5	5	子育て中の親の連携、団体、サークル活動等の情報交換の場として実施することができた。実行委員会形式で開催し、子育て支援課や障がい福祉課、広報広聴人権課、健康づくり課との横のつながりや新たな子育て関係者との連携も取ることができた。26年度も子育て支援ネットワークと連携し、事業実施方法について検討する。	生涯学習課		他事業計画有（生涯学習プラン）

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
98	53	子育てわくわく学級	子育てについての学びと共に母親の自立を目指します。	5	5	5	1人で子育てに悩むのではなく、仲間を作り、交流し、視野を広め、自分自身の成長につなげられる学びを目的としている。今後も子育てと自分育てについて参加者同士がコミュニケーションをとりながら学べる講座を開催する。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
99	53	親と子が共に育つ教室	子育て中の親が孤立することなく、仲間をつくり地域の中で助け合いながら、楽しく子育てができるよう開催した。	5	5	5	参加型の学習を通して、母親の子育ての悩みの解消や、地域社会との関わり方など学習することができた。また、昨年は東日本大震災の発生を受けて、絆や命についても考える事ができた。今後も受講者のニーズをつかみながら開催していきたい。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
100	53	幼児を持つファミリー学級	子育て中の母親・父親たちの仲間作りと自立を目指します。	5	5	5	先輩ママからの子育ての実践、ママ向けのコーチング的な講座の反響が強かったことから、夢やチャレンジしたいことをたくさん持ちながらも、子育て、自分育てについて、悩みや迷いをもっているママの複雑な心理を感じた。もう一度原点に帰り、悩みをフランクに吐き出し、共有できる時間をもっとゆっくり取り入れてみたいと感じた。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
101	53	こころの育児サロン	妊娠中や乳幼児を持つ親を対象に育児不安の解消や仲間作りのための講座を開催します。	5	5	5	家庭教育、親子関係に悩む母親、父親の姿を考え見ることができ、意義ある教室を開催することができた。今後も関心の少ない層の参加が得られる方法を模索して実施したい。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
102	53	ブックスタート	図書館職員及びボランティアが、座間市で生まれたすべての赤ちゃんとその親を対象に、赤ちゃん用の絵本、図書館利用案内等の入った、ブックスタートバックを進呈し、読書の重要性を訴える。毎年継続事業としたい。「第二次子ども読書活動推進計画」にも盛り込まれた事業	1	1	2	25年度に引き続き26年度においても予算措置を講じることができなかったため、27年度以降で予算措置を講じてから事業に着手します。	図書館		他事業計画有 (座間市立図書館サービス計画2011)
103	54	薬物乱用防止街頭キャンペーンの実施	各種団体の協力を得て、薬物乱用防止街頭キャンペーンを実施します。	4	4	4	薬物が人体に与える有害作用等を習得させることにより、薬物乱用の撲滅にさらに努める必要がある。	青少年課		実績評価充分達成しているため
104	54	正しい携帯電話の使用法の啓発	携帯電話を通じた違法メールの受信や違法サイトの閲覧などを防止する正しい携帯電話の使用方法を子どもたちに周知啓発します。	4	4	4	携帯電話・スマートフォン等子どもを取り巻くネット環境が著しく変化しているため、警察等の携帯電話教室を実施し、危険性も含めて携帯電話の正しい使用法を子どもたちへの啓蒙活動に取り組んでいく。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
105	56	公的住宅の供給	公営住宅と公社・公団住宅の整備促進の働きかけを行います。	4	5	5	県営住宅・公社等の募集に協力していく。	建築住宅課		十分に達成されている
106	58	公的建築物のバリアフリー化	バリアフリー化を推進します。	5	5	5	市営住宅については、段差のフラット化、手摺の設置等バリアフリー化の実施に努める。市営立野台住宅3・4・5号棟に階段手摺設置(7階段 1～3階)	建築住宅課		十分に達成されている
107	58	道路改良事業	既存の主要道路を改良することにより、道路交通の安全と円滑化を図り、誰でも利用しやすいまちづくりを推進します。	5	5	5	今後も引き続き、計画的な道路改良事業を進めます。(市道7号線道路改良事業、市道13号線道路施設改修事業として、平成26年度予算41,250千円を計上しました。)	道路課		実績評価充分達成しているため
108	58	総合交通対策事業	市内を北部、南東部及び西部の3地区に分け、計画的道路の改良、改善、バリアフリー化を実施することにより、道路の安全と移動円滑化を図り、「すべての人にやさしい交通環境づくり」をめざします。	5	5	5	今後も利用者の利便性、安全性を図るため、引き続き計画的な総合交通対策事業を進めます。(北部地区総合交通対策事業、南東部地区総合交通対策事業、西部地区総合交通対策事業により市域の交通対策事業として、平成26年度予算826,880千円を計上しました。) ※平成22年度から以前の6地区を3地区に統合し事業名を変更しました。	道路課		実績評価充分達成しているため



No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
109	58	道路維持管理事業	道路パトロールを行い、道路の舗装の劣化した箇所の改善、道路雨水排水の改善、道路施設の緊急修繕を行い、交通の安全と円滑化を図り、誰でも利用しやすいまちづくりを推進します。	5	5	5	今後も計画的な道路維持管理事業を進めます。(街路樹維持管理事業、施設点検パトロール要補修路線維持管理事業、一般道路・橋りょう維持管理事業等市域の道路維持管理事業として、平成26年度予算270,042千円を計上しました。また、道路緊急維持補修事業費として39,000千円を計上し、平日、休日等を問わず、緊急的な維持補修作業に努めます。	道路課		実績評価充分達成しているため
110	58	交通安全施設整備事業	照明灯、道路反射鏡、ガードレール及び警戒標識を設置し、交通の安全と円滑化を図り、誰でも利用しやすいまちづくりを推進します。	5	5	5	今後も危険箇所を対象とした交通安全施設整備事業を進めます。(交通安全施設整備事業として市域の交通対策事業として、平成26年度予算11,650千円を計上しました。)	道路課		実績評価充分達成しているため
111	59	公園等整備事業	公園等の整備を計画的に行い、身近な公園づくりを推進します。	5	5	5	公園等の計画的整備、用地の確保に引き続き努力を必要とする。 芹沢公園第4工区事業用地取得芹沢公園整備工事	公園緑政課		実績評価充分達成しているため
112	59	公園等維持管理事業	既設公園等の維持管理を行い、安全で利用しやすい公園づくりを推進します。	5	5	5	今後とも既設公園等の質の向上を図るとともに、地域が主体となる維持管理について検討を進める必要がある。 市内公園等176箇所において、下記のとおり計画しています。 公園清掃委託7件 公園樹木剪定委託5件 公園施設改修工事8件 施設改修8件 公園広場雨水対策工事1件 施設修繕(随時実施)	公園緑政課		実績評価充分達成しているため
113	59	公園等施設点検事業	既設公園等施設の点検を行い、誰でも安心して利用できる施設づくりを推進します。	3	3	5	今後とも既設公園の施設点検の充実を図り、安全性の向上に努める必要がある。 「国民安全の日」の関連事業による施設点検パトロールの実施。 公園遊具安全点検業務委託による遊具安全点検の実施。(日常点検3回、定期点検1回) 公園広場等施設保守点検業務委託による施設点検保守管理を実施。	公園緑政課		実績評価充分達成しているため
114	59	防犯啓発活動	くらし安全安心嘱託指導員を配置し、青色防犯パトロール車による防犯パトロールの実施や専門指導員による子どもを対象とした防犯教育の実施に努めます。	4	4	4	防犯パトロールについては、今後も実施回数等の充実に努める必要がある。	安全防災課	●	
115	59	防犯灯の設置・管理	犯罪抑止の観点から防犯灯の設置・維持管理を行っており、夜間の交通安全と防犯に努めます。	4	4	4	今後も効率的な防犯灯の設置・管理の充実に努める。	安全防災課	●	
116	63	職業生活と家庭生活の両立のための広報・啓発事業	仕事と子育ての両立に向け、国・県等と連携を図りながら働きやすい環境整備及び啓発に努めます。	3	3	3	国・県等と連携を図りながら働きやすい環境整備及び啓発に努める必要がある。(リーフレット等を配布し、働きやすい環境整備及び啓発に努める。)	商工観光課 子育て支援課		国の施策によるため
117	63	ファミリー・サポート事業	No2に記載					子育て支援課		再掲
118	63	通常保育事業 (待機児童の解消)	No19に記載					保育課		再掲
119	63	延長保育事業	No20に記載					保育課		再掲
120	63	休日保育事業	No21に記載					保育課		再掲
121	63	保育園における「特定保育」の実施	No4に記載					保育課		再掲
122	63	「病後児保育」の実施	No6に記載					保育課		再掲
123	64	「児童ホーム」の実施	No7に記載					子育て支援課		再掲
124	64	なかよしベビークラス	No25に記載					健康づくり課		再掲
125	64	育児相談	No15に記載					健康づくり課		再掲
126	64	母親父親教室	No42に記載					健康づくり課		再掲
127	64	新生児訪問事業	No10に記載					健康づくり課		再掲
128	64	子育て支援センター事業	No1に記載					子育て支援課		再掲

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評 価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
129	66	多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直しのための広報・啓発事業	多様な働き方の実現及び男性を含めた働き方の見直しに向け、国・県等と連携を図りながら働きやすい環境整備及び啓発に努めます。	3	3	3	国・県等と連携を図りながら働きやすい環境整備及び啓発に努める必要がある。(リーフレット等を配布し、働きやすい環境整備及び啓発に努める。)	商工観光課 子育て支援課		他事業計画有 (男女共同参画プランの事業名と一部重複)
130	66	お父さんと遊ぼう	子どもとスポーツやゲームを通して親子のふれあいを目指します。	5	5	5	子どもとスポーツやゲームを通して、親子のふれあいができる場を提供することができた。	スポーツ課 (体育館)		実績評価充分達成しているため
131	66	育児相談	No15に記載					健康づくり課		再掲
132	66	母親父親教室	No42に記載					健康づくり課		再掲
133	67	父子健康手帳の交付	No40に記載					健康づくり課		再掲
134	67	新生児訪問指導	No10に記載					健康づくり課		再掲
135	67	乳幼児健康診査	No15に記載					健康づくり課		再掲
136	67	一般事業主行動計画策定セミナーの開催	市内の一般事業主に対して、一般事業主行動計画の策定講座の開設を目指します。	1	1	2	努力義務の企業(従業員100人以下)に対し実施するためには国の協力が必要である。窓口に国のパンフレットを置いて周知する。	子育て支援課		国の施策によるため
137	69	子どもの交通安全教育	小学校等において、交通安全教室や自転車乗り方教室を実施し、子ども自身の交通安全意識の高まりに努めます。	4	4	4	交通安全教室等を通じ交通安全意識の高揚と事故防止を図るため、今後も事業展開に努める。	安全防災課	●	
138	69	学童交通安全指導員の配置	通学路に学童交通安全指導員を配置し、子どもの交通安全指導等に努めます。	4	4	4	今後も学童交通指導員による交通安全指導等を行うことにより、子ども・歩行者の交通安全の確保と交通安全意識の高揚を図る必要がある。	安全防災課	●	
139	69	啓発物等の配布	新入学児童へ黄色い帽子やランドセルカバーの配布を行い交通事故等からの安全を図ります。	5	5	5	新入学児童を交通事故等から守るための注意喚起を促すことができました。 (黄色い帽子については配布予定です。その他については寄贈頂いた場合のみ配布予定です。)	学校教育課		実績評価充分達成しているため
140	70	防犯啓発活動	No114に記載					安全防災課		再掲
141	70	防犯灯の設置・管理	No115に記載					安全防災課		再掲
142	70	緊急情報メール配信サービス	安全で安心なまちづくりを一層推進するために、市内で発生した火災や犯罪者情報を携帯電話やパソコンに電子メールで配信します。	5	4	4	防災訓練、防災講話、防災マップ配布等あらゆる機会をとらえて登録の周知を行いました。	安全防災課		他事業計画有 (防災計画)
143	71	街頭補導活動	青少年の非行防止のため、専門補導員による毎日の街頭パトロールや青少年補導員の地区街頭パトロール等を実施します。また、子どもの健全な成長を支えるため街頭キャンペーンを実施します。	3	3	4	青少年とのコミュニケーションを図る「声かけ」活動を重点に置き、注意、指導等を行いながら、非行防止に取り組む必要がある。	青少年課	●	
144	71	こども110番の家	不審者からの声かけ、わいせつ、つきまとい、ちかん行為などから子どもを守る緊急避難場所として「こども110番の家」を充実し、子どもが被害者となる犯罪の防止に努めます	4	4	4	登録件数についてはやや増加傾向にある。今後も関係団体との連絡を密にし、劣化破損した看板の交換など、継続的に取り組む必要がある。	青少年課	●	
145	71	学校安全対策囑託員の配置	不審者による被害等が増えており、児童生徒を取り巻く環境をよりよく整えるために、学校安全対策囑託員を配置し、学校の安全管理及び児童生徒の安全確保に努めます。	5	5	5	元警察官が囑託員として市内小中学校を巡回し、学校の安全管理体制の充実と安全意識の向上を図っている。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
146	71	市内小学生(新入学児童)に防犯ブザーを支給	市内小学生(新入学児童)及び転入児童に防犯ブザーを支給し、子どもが被害者となる犯罪の防止に努めます。	5	5	5	防犯ブザーを携帯することにより、子どもの安全意識を高めるとともに、犯罪を抑制する効果があった。	教育指導課		実績評価充分達成しているため
147	72	青少年相談	No35に記載					青少年課		再掲
148	72	教育相談	No36に記載					教育指導課		再掲
149	72	児童相談	No16に記載					子育て支援課		再掲
150	75	座間市要保護児童対策協議会	関係者・関係機関による座間市要保護児童対策協議会を開催し、必要な支援のための連絡調整を行います。このネットワークには、年2回程度開催の「代表者会議」のほか、担当者による「連絡会議」と各ケースごとの「ケース会議」を随時開催し、児童虐待の防止と迅速な対応に努めます。	4	4	4	要項の改正を行い、座間市要保護児童対策協議会を活用しながら、虐待等の対応をしていく。また、庁内をはじめ、関係機関に要保護対策協議会についての啓発を行っていく。	子育て支援課	●	
151	75	児童相談	No16に記載					子育て支援課		再掲
152	75	「短期入所生活援助(ショートステイ)事業」の実施	No5に記載					子育て支援課		再掲
153	75	乳幼児健診(4か月～3歳6か月までの計5回)	No13に記載					健康づくり課		再掲
154	76	育児グループ支援事業「なかよしベビークラス」	No25に記載					健康づくり課		再掲

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評 価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
155	76	離乳食育児教室「赤ちゃん教室」「もぐもぐ教室」	No47に記載					健康づくり課		再掲
156	76	1歳児むし歯予防教室「歯っぴいパースディ教室」	No48に記載					健康づくり課		再掲
157	76	乳幼児健診フォロー教室「わくわく教室」「すくすく教室」	No54に記載					健康づくり課		再掲
158	76	妊娠届出・母子健康手帳の交付	妊娠届出：No37に記載 母子健康手帳の交付：No38記載					健康づくり課		再掲
159	76	電話相談	No17に記載					健康づくり課 子育て支援課 保育課		再掲
160	76	育児相談	No15に記載					健康づくり課		再掲
161	76	発達相談	No52に記載					障がい福祉課		再掲
162	77	親子相談	No52に記載					健康づくり課		再掲
163	77	ことばの相談	ことばに関するいろいろな問題について言語聴覚士が相談を受け、発達を促す助言をしたり、必要があれば、専門機関を紹介しています。	4	4	4	26年度は広報にも掲載し、毎月相談枠を設け、ことばの相談を行っています。ニーズがあげれば相談日以外でも受けられるよう調整しています。	障がい福祉課		他事業計画有 (座間市障害者計画)
164	77	子育て支援センター事業	No1に記載					子育て支援課		再掲
165	77	新生児訪問指導	No10に記載					健康づくり課		再掲
166	77	乳幼児訪問指導	No11に記載					健康づくり課		再掲
167	77	妊婦健康診査	No39に記載					健康づくり課		再掲
168	77	思春期保健対策「赤ちゃんのふれあい体験」	No25に記載					健康づくり課		再掲
169	77	母親父親教室	No42に記載					健康づくり課		再掲
170	77	出生連絡票受理	No43に記載					健康づくり課		再掲
171	79	母子家庭自立支援教育訓練給付金、母子家庭高等技能訓練促進費の給付により、雇用の促進を図ります。		5	4	4	平成26年度より、母子家庭等の自立支援を目的とし、教育訓練費の公費負担を20%から40%へ上限を20万円に増やした。	子育て支援課	●	
172	79	保育園	母子家庭等ひとり親家庭の就労支援のため、入園の申し込みがあった場合、選考において、優先するなど、自立を支援します。(母子及び寡婦福祉法第28条)	5	5	5	母子家庭の自立を支援するために有効。	保育課		子ども・子育て支援事業へ
173	79	児童ホーム(学童保育)	母子家庭等ひとり親家庭の就労支援のため、児童ホーム利用の申し込みがあった場合、選考において、優先するなど、自立を支援します。	5	5	5	母子家庭の自立を支援するために有効。	子育て支援課		子ども・子育て地域支援事業へ
174	79	母子家庭等日常生活支援事業の推進	疾病や就労支援のために、一時的に生活援助や保育サービスが必要な家庭に対し、家庭生活支援員を派遣します。	5	3	3	母子・父子家庭の支援に有効。	子育て支援課	●	
175	79	ファミリー・サポート事業	No2に記載					子育て支援課		再掲
176	79	ひとり親家庭等医療費助成事業	ひとり親家庭等の生活の安定と、自立を支援するために、保険適用を受ける医療費の自己負担分を助成します。	5	5	5	母子・父子家庭の支援に有効。	子育て支援課		実績評価充分達成しているため
177	79	上下水道料金の減免	ひとり親家庭について、水道料金及び下水道使用料の一部を減免します。	5	5	5	母子・父子家庭の支援に有効。	水道経営課 下水道課		実績評価充分達成しているため
178	79	児童扶養手当	父母の離婚などによって、父または母と生計を同じくしていない児童について、手当てを支給します。	5	5	5	母子・父子家庭の支援に有効。	子育て支援課		実績評価充分達成しているため
179	79	母子等福祉手当	本市独自の制度として、18歳未満の児童を養育している母子家庭・父子家庭及び両親のいない家庭に対し、福祉手当を支給します。	5	5	5	平成26年3月31日廃止	子育て支援課		事業廃止のため
180	79	母子・寡婦福祉資金の貸付	母子家庭等の経済的自立支援のため、子どもの修学、修学支度等の貸付けを行います。	5	5	5	母子家庭等の自立支援に有効。 (平成26年度より父子家庭へ貸付開始予定)	子育て支援課		実績評価充分達成しているため
181	80	母子父子自立支援員による相談	他の関係機関と連携しながら、子育てや生活、就労などのさまざまな分野の総合窓口として相談に対応します。	5	5	5	支援に係わる事業が父子にも拡充しており、母子・父子の自立支援の総合窓口として有効性は高まる。	子育て支援課	●	
182	80	支援施策・制度の情報提供の充実	ひとり親家庭等の福祉施策・制度についての情報について、より入手しやすく分かりやすく情報提供します。	5	5	5	母子、父子家庭の支援に有効。	子育て支援課		実績評価充分達成しているため
183	80	福祉関係機関や教育委員会等との連携による相談体制の充実	子育て支援について、連携をさらに強化し、総合的な支援の充実を図ります。	5	5	5	母子・父子家庭の支援に有効。	子育て支援課		実績評価充分達成しているため

No	行動計画記載ページ	支援事業名	支援事業の内容	達成度			評価 (26年度改善点等)	担当課	継承する事業	継承しない事業
				H23	H24	H25				
184	81	乳幼児訪問指導	No11に記載					健康づくり課		再掲
185	81	育児相談	No15に記載					健康づくり課		再掲
186	81	電話相談	No17に記載					健康づくり課 子育て支援課 保育課		実績評価充分達成しているため
187	82	発達相談	No52に記載					障がい福祉課		再掲
188	82	親子相談	No52に記載					健康づくり課		再掲
189	82	乳幼児健診フォロー教室 「わくわく教室」 「すくすく教室」	No54に記載					健康づくり課		再掲
190	82	乳幼児発達支援事業	発達の遅れや障がいの疑いのある乳幼児に対し、グループ指導を通じて、ことばの発達や集団生活での社会性を促します。また、保護者に対しては安心して子育てができるよう相談・助言を行います。保育園・幼稚園に通園している児童についても、各種専門職員が訪問し、職員・保護者の相談にのったり助言を行います。	4	4	5	3歳未満の対象児が多くなっています。26年度は、人数状況によってはクラスを増やす方向で調整しております。 私立幼稚園からの巡回訪問相談が増加傾向にあります。 各施設と密な連携をとり、お子さんに合った支援を検討して行きます。	障がい福祉課		他事業計画有 (座間市障害福祉計画)
191	82	児童発達支援事業	発達の遅れや障がいの疑いがある乳幼児に対し、グループ指導を通じて日常生活における基本的動作の習得と集団生活に適應できるよう支援を行い、保護者に対しては安心して子育てできるよう相談・助言を行います。	4	4	5	保育園や幼稚園に就園できず、修学まで継続するお子さんが増加傾向にあります。対象児の年齢・障がいが多岐にわたるため、継続的に内容の充実に向けていく必要があります。卒園児を対象としたフォローグループの活動を実施し、卒園後も地域における支援の場を提供できるよう努めています。	障がい福祉課		他事業計画有 (座間市障害者計画)
192	82	ことばの相談	No163に記載					障がい福祉課		再掲(座間市障害者計画)
193	82	障害のある児童生徒への支援の推進	No81に記載					教育指導課		再掲
194	83	障害児介助員設置事業	No83に記載					教育指導課		再掲
195	83	子育て支援センター事業	No1に記載					子育て支援課		再掲
196	83	新生児訪問指導	No10に記載					健康づくり課		再掲
197		すくすく講座	北地区文化センターと第2子育て支援センターの共催で講座を開設。			5	H25年度から計画参入事業子育てに悩みを持つ母親は多い。『わくわく学級』では拾いきれない課題や受講者のニーズを取り入れながら、講座の内容を充実させていく。	生涯学習課		他事業計画有 (生涯学習プラン)
198		未熟児訪問指導	出生体重が2,500g未満の未熟児及び養育医療が必要な児の発育・発達・育児に対して、重層的な継続支援を行います。			4	H25年度から計画参入事業退院後、早期に訪問を行い継続支援を行う必要がある。	健康づくり課	●	
199		未熟児支援教室	出生体重が2,500g未満の未熟児及び養育医療が必要な児の親に対して、重層的な継続支援を行います。			4	H25年度から計画参入事業教室への参加を促し、仲間づくりと育児不安の軽減を図る必要がある。また、発育発達に心配がある児に対して、関係機関と連携をとる。	健康づくり課	●	